

金管楽器調律研究所

マウスピース調律の効果とリスク

効果	注意点
マウスピースと楽器の振動効率を揃えることで、楽器本体の 金管楽器調律の効果を最大限に発揮 することができます。	ごく稀にメーカーのメッキ前の下処理(脱脂)が甘いとメッキに気泡の様なものが浮き出る可能性があります。
レスポンスの向上 、唇の振動する瞬間からリッチな音で奏でられる。	確実に良い方向に変化しますが、現在の状態に不満がない方はそのままお使いください。
響きに 深み が増し、 立体的なサウンド を奏でやすくなります。	大きなリスクは特にありません。
所謂、100本のマウスピースから プロが選定した個体 の様なバランスの取れた個体になります。	
音に当たった感覚、所謂「 ツボ 」の 前後が均一化 します。その結果コントロール性能やなりムラが軽減され、まるで眼鏡の ピントが合った様な明瞭な吹奏感 を得られます。 これは楽器本体の調律と組み合わせることでより効果が出ます。	
ppのコントロールが容易になると共に、 ダイナミクスレンジが拡大 します。それは同じ息の速度に対する音への変換効率が上昇する為です。	
適度な抵抗感と音抜けを両立します。 吹奏感が軽すぎて息は入るが、響きが薄い状態、抵抗感は強いが楽器は鳴る状態はどちらも調律バランスが取れていないことが原因です。	
スクリーリム のマウスピースや複数の金属パーツに分かれているモデルは着脱部分で振動が止まってしまうというデメリットがありますが、マウスピース調律によってワンピースのマウスピースに近い響きを得ることができます。	